



# Tout savoir sur : les Appellations Régionales avec dénomination géographique complémentaire

デノミナシオンを持つ地域名アペラシオンについて

2019年2月、ブルゴーニュ

## Qu'est-ce qu'une dénomination géographique complémentaire ? デノミナシオンとは？

アペラシオン/*appellation* によっては、仕様書の中に デノミナシオン ( *Dénomination géographique complémentaire* ) の記載があり、これによって AOC (原産地呼称統制) よりも厳密にテロワール/*terroir* を特定することができる。このデノミナシオンは、ブルゴーニュ/*Bourgogne* とマコン/*Mâcon* の区画の特徴に価値を付加しており、更に厳しい生産条件が課されている (下記参照)。デノミナシオンは数年前から、下記要因によるブルゴーニュ/*Bourgogne* ワイン全体の品質向上の恩恵を受けている：

- 栽培と醸造の面での慣行改善
- 環境配慮への業界全体の取り組み
- 気候変動

消費者の期待に応える競争力があり、手頃な価格も魅力的である。

仕様書のデノミナシオンは、地域名アペラシオン/*Appellations Régionales* に限ったものではない。

- ▶ プルミエ・クリュ/*Premier Cru* も同様に、各村名アペラシオン/*Appellations Villages* の仕様書においてデノミナシオンが記載されている。アペラシオン/*appellation* が誕生する際に、村名アペラシオン/*Appellations Villages* によっては、その特別な特徴のため、クリマ/*Climats* が区別されており、プルミエ・クリュ/*Premier Cru* の地位を獲得している (このカテゴリーの正確な名称は村名プルミエ・クリュ/*Appellations Villages Premier Cru* となる)。

- ▶ 同様に、グラン・クリュ/Grand Cruでもこのような過程を経たものがある。中でもシャブリ・グラン・クリュ/Chablis Grand Cru が最も有名で、ひとつの仕様書の中には、7つのクリマ/Climats がデノミナシオンを取得している。このように、シャブリ/Chablisには1つのグラン・クリュ/Grand Cru しかないが、7つのクリマ/Climats があるということになる。



## ブルゴーニュ/Bourgogne とマコン/Mâcon のアペラシオン/l'appellation とそのデノミナシオンを読み解くには？

### AOC ブルゴーニュ/Bourgogne のデノミナシオン:

- ▶ 14のデノミナシオンが存在する。  
ブルゴーニュ・シトリー/Bourgogne Chitry、ブルゴーニュ・コート・シャロネーズ/Bourgogne Côte Chalonnaise、ブルゴーニュ・コート・ドーセール/Bourgogne Côtes d'Auxerre、ブルゴーニュ・コート・ドール/Bourgogne Côte d'Or、ブルゴーニュ・コート・デュ・クショワ/Bourgogne Côtes du Couchois、ブルゴーニュ・コート・サン・ジャック/Bourgogne Côte Saint-Jacques、ブルゴーニュ・クーランジュ・ラ・ヴィヌーズ/Bourgogne Coulanges-la-Vineuse、ブルゴーニュ・エピヌイユ/Bourgogne Épineuil、ブルゴーニュ・オート・コート・ド・ボーヌ/Bourgogne Hautes Côtes de Beaune、ブルゴーニュ・オート・コート・ド・ニュイ/Bourgogne Hautes Côtes de Nuits、ブルゴーニュ・ラ・シャペル・ノートルダム/Bourgogne La Chapelle Notre-Dame、ブルゴーニュ・ル・シャピートル/Bourgogne Le Chapitre、ブルゴーニュ・モントルキュル/Bourgogne Montrecul、ブルゴーニュ・トネール/Bourgogne Tonnerre
- ▶ ここでは、デノミナシオンはあらゆるレベルで表記することができる。最も良く見られるのが畑をまとめたレベル（例：Bourgogne Côte Chalonnaise、Bourgogne Hautes Côtes de Nuits など...）だが、村レベルの場合もある（例：Bourgogne Coulanges-la-Vineuse, Mâcon-Lugny）そして、ごく稀にクリマ/Climats レベルの場合もある（例：Bourgogne Le Chapitre）。
- ▶ 全デノミナシオンの面積は 2,940 ヘクタール\*、これは AOC ブルゴーニュ/Bourgogne 総面積の 52.5% を占める (出典：BIVB、2017年収穫)。
- ▶ ブルゴーニュ・コート・ドール/Bourgogne Côte d'Or は、最も新しいデノミナシオンで、初ヴィンテージは 2017年となる。コート・ド・ボーヌ/Côte de Beaune とコート・ド・ニュイ/Côte de Nuits のみで生産される。INAO（国立原産地名研究所）の認証を得るのに 20年間かかった。初ヴィンテージは、2019年頭から市場に出回る。

## マコン/Mâcon のデノミナシオン：

- ▶ 27 の村がマコン/Mâcon のデノミナシオンとして、村名を追記することができる：  
アゼ/Azé、ブレ/Bray、ブルジ/Burgy、ブシュール/Bussières、シャントレ/Chaintré、シャルドネ/Chardonnay、シャルネ・レ・マコン/Charnay-Lès-Mâcon、クルジル/Cruzille、ダヴァイエ/Davayé、フイッセ/Fuissé、イジェ/Igé、リュニイ/Lugny、ロシェ/Loché、マンセイ/Mancey、ミリ・ラマルティヌ/Milly-Lamartine、モンベレ/Montbellet、ペロンヌ/Péronne、ピエルクロ/Pierreclos、プリッセ/Prissé、ラ・ロシュ・ヴィヌーズ/La Roche-Vineuse、セリエール/Serrières、ソリュトレ・プイイ/Solutré-Pouilly、サン・ジャングー・ル・ナシオナル/Saint-Gengoux-le-National、ユシジー/Uchizy、ヴェルジソン/Vergisson、ヴェルゼ/Verzé、ヴァンゼル/Vinzelles.
- ▶ これらは 1,756 ヘクタール\*、つまり AOC マコン/Mâcon 全体面積の 43 % を占める(出典 2018 : UPVM – 2017 年収穫).
- ▶ ヴィレ・クレッセ/Viré-Clessé は、以前はマコン・ヴィレ/Mâcon-Viré とマコン・クラッセ/Mâcon-Clessé という 2 つのデノミナシオンを持つ地域名アペラシオン/Appellations Régionales であったが、これら 2 つ地域名アペラシオン/Appellations Régionales は、村名アペラシオン/Appellation Village になるため合併した。現在、Mâcon-Lugny が同じことをしようと計画している。



## デノミナシオンを持つ地域名アペラシオン/Appellations Régionales とそれを持たない地域名アペラシオン/Appellations Régionales の本質的な違いは何か？

デノミナシオンを持たない地域名アペラシオン/Appellations Régionales に比べ、生産条件がかなり厳しくなる：

- ▶ 区画の限定が更に厳格：これらのデノミナシオンは地域名アペラシオン/Appellation Régionale に対し、さらに生産場所を特定することができ、それぞれの歴史と伝統によって培われたテロワール/terroir の概念をよりの確に紹介することができる。反して、ブルゴーニュ/Bourgogne とマコン/Mâcon のアペラシオン/appellation は、地理的に広いエリアが対象であり、ぶどう畑の地域的な区切りと合致している。
- ▶ より少ない収量
- ▶ 収穫したぶどうの糖度の高さ

## デノミナシオンを持つ地域名アペラシオン/Appellations Régionales のチャンスとは？

これらのデノミナシオンを持つ地域名アペラシオン/Appellations Régionales は、ブルゴーニュ/Bourgogne ワイン全体の 16%を占めている（2013 年～2017 年の 5 年間の平均）。これらのアペラシオン/appellation は、現実的な数量と優れたコストパフォーマンスによって、販売拡大に向け新たな可能性へと導いてくれる存在となるだろう。バイヤーとその顧客にとってはチャンスである。ブルゴーニュ/Bourgogne ワインを普段飲まないような消費者の新規開拓を可能にするこの新しいカテゴリーに、酒販店、レストラン、そしてその他業界のプレイヤーに是非注目いただきたい。レストランにとっては、バイザグラスで販売するのにぴったりのワインだ。

### プレス問い合わせ先：

ブルゴーニュワイン委員会（BIVB） 広報担当者 Cécile Mathiaud  
Tel. +33 (0)3 80 25 95 76 - Portable + 33 (0)6 08 56 85 56 - [cecile.mathiaud@bivb.com](mailto:cecile.mathiaud@bivb.com)

日本国内： Sopexa Japon 担当：吉岡

Tel. 03-5789-0083 – FAX: 03-5789-0087 – [pr\\_jp@sopexa.com](mailto:pr_jp@sopexa.com)

全プレスリリースおよびライセンスフリー画像は[プレスルームから](#)

プレスルームからの最新情報を受け取るには[こちらをクリック](#)

FOLLOW US :



### ブルゴーニュワイン委員会（BIVB）

ブルゴーニュワイン委員会（BIVB）は、ブルゴーニュ/Bourgogne のぶどう栽培農家、ネゴシアンおよびワイン醸造業者ら全てをとりまとめる団体です。ブルゴーニュ/Bourgogne ワインおよび生産者、ネゴシアンを代表してその利益を守り、技術・経済・コミュニケーション面でのブルゴーニュ/Bourgogne ワインの方針を定め、係る方針に基づいた行動を実施することが、ブルゴーニュワイン委員会（BIVB）の使命です。

今日、約 29,400ha にモザイク状に広がるぶどう畑から、世界のワイン生産量（1 億 8700 万本）のおよそ 0.6%を生産しているブルゴーニュ/Bourgogne。高品質のワインを通じ、テロワール/terroir の概念を最もよく伝えることのできるフランスのぶどう畑がブルゴーニュ/Bourgogne なのです。ミクロクリマ、ぶどう品種、人の手、そして土、これら要素が深く絡まりあい個性あふれるブルゴーニュ/Bourgogne ワインが生み出されています。